

町田市 町内会・自治会向け



地域のつながりを支える LINE活用ガイド

町内会・自治会の連絡を
無理なく、わかりやすく、届けやすく



LINEを使って地域の連絡を少し便利に

町内会・自治会の活動では、回覧板や掲示板、電話、対面での声かけなど、これまで大切にしてきた連絡方法があります。

その一方で、急なお知らせを早く届けたいときや、役員同士で確認をしたいとき、行事の準備を進めたいときなど、もう少し手軽に連絡できたら便利だと感じる場面もあるのではないのでしょうか。

LINEは、すでに多くの方が日常で使っている身近な連絡手段です。

すべての連絡をLINEに変える必要はありません。
紙のお知らせや電話、直接の声かけも大切にしながら、必要
なところに少しずつ取り入れていく。
それだけでも、地域の連絡が少しスムーズになることがあります。

この冊子では、町内会・自治会で活用しやすいLINEの使い方
を、できるだけわかりやすく紹介しています。

「これならできそう」「うちの自治会でも使えるかも」

そんな気持ちで、気軽に読み進めていただけたら幸いです。

※本冊子は、町田市が作成する参考資料であり、LINEヤフー株式会社および各サービス提供会社が公認・後援・監修するものではありません。「LINE」「LINEオープンチャット」「LINE公式アカウント」「Word」「Googleドライブ」等の名称は、各社の商標または登録商標です。本文中では、商標記号（™、®）を省略している場合があります。各サービスの機能・仕様・料金等は変更される場合があります。

〈目次〉

LINEの基本

- 01 LINEってどんなもの? 4
- 02 LINEでできる連絡方法 5

グループトーク

- 03 グループトークってなに? 6
- 04 グループトークのメリット・デメリット . . . 7
- 05 町内会・自治会での活用イメージ 8
- 06 グループトークの導入方法 9

LINE公式アカウント

- 07 LINE公式アカウントってなに? 10
- 08 LINE公式アカウントのメリット・デメリット . 11
- 09 町内会・自治会での活用イメージ 12
- 10 LINE公式アカウントの導入方法 13
- 11 LINE公式アカウントの使い方（基本） . . . 14

オープンチャット

- 12 オープンチャットってなに? 15
- 13 オープンチャットのメリット・デメリット . . 16
- 14 町内会・自治会での活用イメージ 17
- 15 オープンチャットの導入方法 18
- 16 オープンチャットの使い方（基本） 19

比較・注意点

- 17 4つの連絡方法 比較表 20
- 18 活用する時の注意点 20
- 19 便利な使い方（ちょこっと応用編） 21

事例紹介

- 20 導入事例のご紹介（清住平自治会） 22
- 21 導入事例のご紹介（成瀬殖産地区自治会） . . 23

01 LINEってどんなもの？

LINEは、メッセージや写真、通話などで人とつながれる、身近なコミュニケーションアプリです。家族や友人との連絡だけでなく、地域のお知らせや役員同士の連絡にも活用できます。



✓ 月間利用者数
1億ユーザー

2025年12月時点
参照：LINEヤフーマーケティングキャンパス

✓ 高い普及率
幅広いエリア・年代に利用
されています

LINEでできること

1 メッセージ



文字で気軽にやり
取りができます

2 写真・データ共有



写真やファイルが
送れます

3 音声・ビデオ通話



音声通話や顔を見
ながら話せます

4 お知らせ受信



お店や自治体から
の情報が受け取れ
ます

5 アンケート他



投票や日程調整で
みんなの声を集め
られます



町内会・自治会で使うと…

- ✓ 急なお知らせを早く伝えやすい
- ✓ 役員同士で相談しやすい
- ✓ 紙の連絡を補いやすい



02

LINEでできる連絡方法

LINEには、4つの連絡方法があります。

4つの連絡方法

1 通常トーク

参加人数 2人

1対1の個別連絡に



個人への確認や相談に向いています。
友だち追加が必要。

使用例：個別連絡・相談、出席確認など

2 グループトーク

参加人数 最大500人

関係者同士の相談・情報共有に



役員や担当者同士のやり取りに向いています。
参加には友だち追加が必要。

使用例：役員連絡・行事準備など

3 LINE公式アカウント

参加人数 1人

多くの人へのお知らせ配信に



町内会・自治会や団体からの情報を届け
やすい方法です。友だち追加が必要。

使用例：お知らせ配信・イベント案内など

4 オープンチャット

参加人数 最大1万人

匿名参加で不特定多数の情報交換に



地域のテーマごとに集まりやすい方法
です。友だち追加は不要。

使用例：地域情報の共有・交流など

大切なのは、“誰に・何を伝えたいか”に合わせて選ぶことです

すべてを一度に使う必要はありません。
目的に合う方法から少しずつ取り入れてみましょう。



03

グループトークってなに？

※ 利用者の間では「グループライン」と呼ばれることもあります。

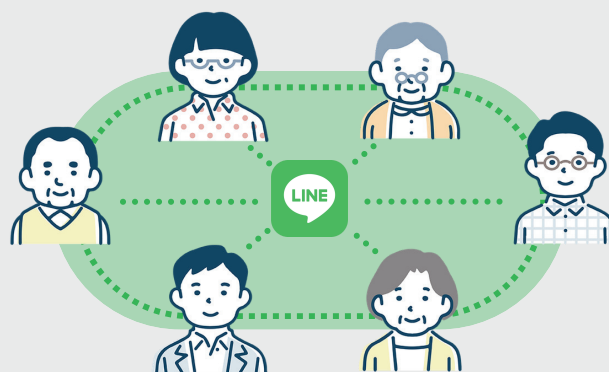
LINEのグループトークは、複数の人が同じトーク画面に入り、メッセージや写真などを共有できる機能です。町内会・自治会では、役員同士の連絡や、行事の準備、防災訓練の連絡など、さまざまな場面で役立ちます。

こんなイメージ

電話より気軽に早く情報共有できる

グループに参加している人へ、一度にまとめてメッセージを送ることができます。

個人的に友だち追加をしていない参加者からのメッセージも受信できます。



グループトークでできること 例

メッセージを送る



ちょっとした確認や連絡を、参加者全員にまとめて送ることができます。

写真・データを送る



活動の様子や掲示物を、写真やファイルで共有できます。

ノートに残す



集合時間や持ち物、役割分担など、大事な情報を整理できます。

アルバムにまとめる



イベントや活動の写真をまとめて残すことができます。

みんなの意見を聞く



投票や日程調整でみんなの意見を整理できます。

町内会・自治会で使うなら

まずは顔見知りの「役員同士」から始めるのがおすすめです

最初からたくさんの人を入れる必要はありません。日頃連絡を取り合う人たちで使ってみると始めやすいです。慣れてきたら、行事ごとにグループを作ってみると良いです。

使い方の例	グループ名の例
役員同士の連絡	〇〇自治会 役員連絡
班長連絡	〇年度 班長連絡グループ
清掃活動	公園清掃活動メンバー



LINEのグループトークは、「顔の見える関係者同士でのやり取り」に向いています。

メリット 	デメリット・注意点 
一斉連絡がとにかくラク 何人もの人に同じ電話やメールをする必要がありません。一回送るだけで、全員にパッと連絡が回ります。	音が鳴り止まなくて疲れる 人数が多いと、誰かが発信するたびに通知音が鳴り響きます。「早くお返事しなきゃ」と気疲れしてしまうこともあります。
写真や大事な連絡を残せる 大切な予定や写真は、消えない専用の場所(アルバムなど)にまとめて保存できます。「あの写真どこだっけ？」と探すのが簡単になります。	話が進んで置いていかれる みんなが次々に発言すると、前の大事な連絡が上に押し流されて、どこにいったか分からなくなることがあります。
多数決がかんたんにできる 「次の集まりはいつにする？」というとき、ボタンひとつで多数決がとれます。自動で集計されるので、予定がすぐに決まります。	送る相手を間違えやすい 「あの人だけに言いたかったこと」を、間違えてみんなが見ている場所に送ってしまう。というハプニングが起きやすいです。
みんなで同時に通話ができる 離れた場所にいる何人もの人と、同時に電話やビデオ通話ができます。みんなの顔を見ながら話すこともできます。	やめたいときに抜けにくい 「このグループから抜けたいな」と思っても、抜けると全員に「〇〇さんがやめました」と文字が出てしまうため、気まずくて抜けにくいかもしれません。

比較で見るグループトーク

連絡方法	得意なこと	使い分けのポイント
通常トーク	1対1の個別連絡	友だち追加した相手とのみ
グループトーク	関係者同士の相談・連絡	顔なじみ同士の連絡網に向いている
LINE公式アカウント	多くの人への一斉配信	参加者同士の話し合いはできない
オープンチャット	広い参加・匿名性のある交流	匿名で相手が誰か分かりにくい

05 町内会・自治会での活用イメージ

グループトークは、「全員へのお知らせ」というより、「関係者同士で相談しながら進める連絡」に向いています。

一斉連絡

防犯・防災やゴミ収集の急な変更をパッと共有する。



写真・資料保存

班長さんや担当者に、広報物や提出物を写真や資料で伝える。今後のために保存する。



多数決

日程調整機能や投票機能を使って、役員会の日程や、お祭りの出店内容を決める。



同時通話

「わざわざ会館まで集まることではないけれど、5分だけ相談したい」という時などに。



上手に使うためのポイント | 対策例

参加している全員が同じ考えではありません。自分が「大丈夫だろう」と思っても、相手が大丈夫とは限りません。みんなが気持ちよく使えるように、運用ルールを設けると、トラブル防止にもなります。

✓ 「夜8時以降は発言禁止」にする（通知対策）

緊急時を除き、メッセージを送るのは朝8時～夜8時まで、といった「音を鳴らさない時間」をあらかじめ決めておきます。

✓ 「返信（スタンプ含む）は不要です」と言い添える（気疲れ対策）

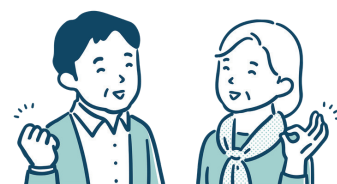
役員からのお知らせの末尾に「※連絡事項のため、お返事や『了解しました』のスタンプは不要です」と書き添えます。これでスマホが鳴り続けるのを防げます。

✓ 「雑談は原則NG」にする（見逃し・埋没対策）

大事な連絡が流れてしまわないよう、「ここは業務連絡の場所です。個人的なおしゃべりは個別のトークでお願いします」と周知しておきます。

✓ 退会・交代のルールを決めておく（抜けにくさ対策）

「役員の任期が終わったら自動的に退会（入れ替え）となります」と最初に決めておけば、「気まずくて抜けられない」という心理的負担がなくなります。



06

グループトークの導入方法

町内会・自治会でLINEグループをスムーズに導入するための「失敗しない4つのステップ」です。スマホ操作に慣れていない方がいる場合、いきなりグループを作るのではなく、事前の準備と丁寧な案内が成功の鍵となります。

ステップ1 「ルール」をあらかじめ決める

使う人が安心できるように、管理側でかんたんな「利用ルール」を決めておきます。8Pの「上手に使うためのポイント」を参考にしてみてください。



ステップ2 グループを作る（ページ下段参照）

まずは、ベースとなるグループの部屋を作ります。作り方はページ下段をご覧ください。



ステップ3 「お知らせ」をノートに貼る

メンバーを招待する前に、ステップ1で決めた「ルール」をグループ内の掲示板（ノート機能）に投稿しておきます。

【ノートの貼り方】

トーク画面右上の「三本線」▶「ノート」▶「+」▶「投稿」▶ルールを書き込んで、右上の「投稿」をタップして完了。

投稿を長押し「アナウンス」を選んでおくと、画面上部にルールが固定されるので親切です。



ステップ4 メンバーを招待する

参加してもらう住民や役員さんをグループに呼びます。相手が目の前にいる場合と、離れている場合で方法を使い分けます。

【相手が目の前にいる場合】

トーク画面右上の「三本線のマーク」▶「招待」▶「QRコード」▶表示されたQRコードを読み込んでもらう▶完了。

【メールで伝える場合】

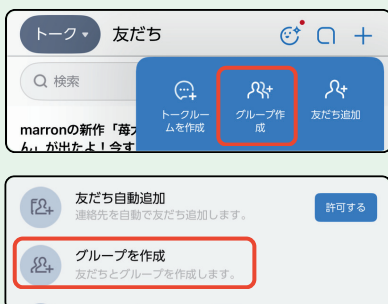
トーク画面右上の「三本線」▶「招待」▶「リンクをコピー」▶コピーしたリンクを送る▶完了。



グループの作り方

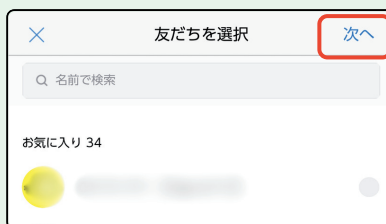
1

画面右上の「+」をタップし、「グループ(を)作成」をタップ。



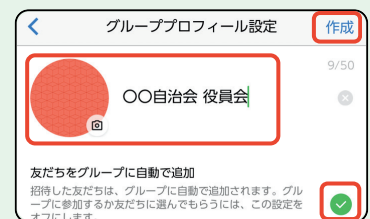
2

グループに招待したい人を選び（まだいなければそのまま）、右上の「次へ」をタップ。



3

グループの名前を入力し、「友だちをグループに自動で追加」のチェックを付ける、または外すかを選択して、右上の「作成」をタップで「完了」。



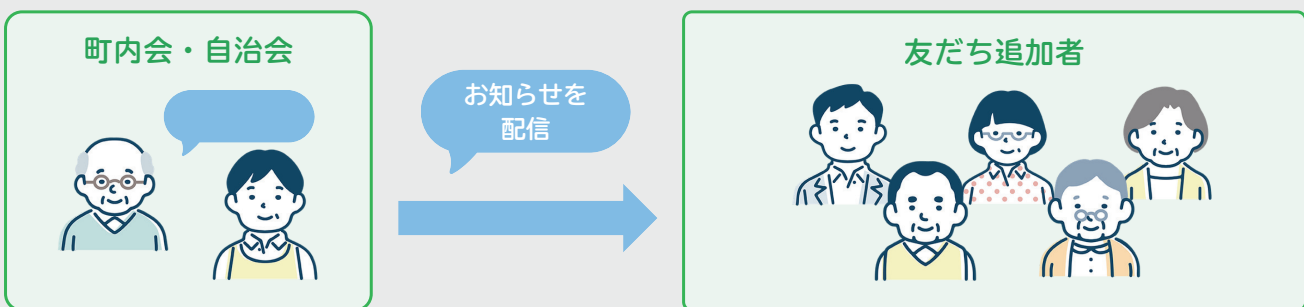
07

LINE公式アカウントってなに？

LINE公式アカウントは、団体やお店、自治体などが「情報を一斉配信する」ことに特化したアカウントです。登録者に向けて、お知らせやイベント情報、防災情報を一斉に届けることができます。

こんなイメージ

町内会・自治会から登録してくれた人へ一斉にお知らせ



LINE公式アカウントでできること 例

お知らせの配信 友だち追加してくれた人にメッセージを一斉配信できます。	リッチメニュー トーク画面下にメニューを設置し、必要な情報へ案内できます。	応答メッセージ 事前に指定したテキストに対し自動で返信することができます。	個別チャット 友だち追加者と個別にメッセージのやり取りができます。	クーポン配信 イベントや清掃活動などへの参加促進に活用できます。
---	---	---	---	--

利用料金

プラン	コミュニケーションプラン	ライトプラン	スタンダードプラン
月額利用料金（税別）	¥0	¥5,000（税抜）	¥15,000（税抜）
無料メッセージ数	200通/月	5,000通/月	30,000通/月
追加メッセージ	不可	不可	～¥3/通

3プランのいずれも開設は無料。プランの違いは、**無料メッセージの通数と追加メッセージの有無**。使える機能に差はありません。プラン変更はいつでも可能なので、まずはコミュニケーションプランから始めるのがおすすめです。通数カウントはメッセージの一斉配信が対象で、登録者との個別チャットは通数にカウントされません。

08

LINE公式アカウントのメリット・デメリット

グループトークやオープンチャットとは違い、役員から住民への「一方通行の確実な情報伝達」と「高度な管理」に特化しています。

メリット 	デメリット・注意点 
誰が登録しているか分からない非公開性 誰が友だち追加しているか他の友だちには分かりません。個人情報を経験から預らないまま運用開始できます。	無料メッセージの通数に制限がある 無料プランは月200通までの一斉配信制限があります。 計算方法：登録者（友だち数）× 配信回数
リッチメニューが設置できる 画面下にリンクボタンを常設できます。スマホ操作が苦手な方でも知りたい情報へ迷わずたどり着けます。	登録者から全体に向けて発言はできない 住民側から全体への発言はできません。
便利な配信機能がある 日時の予約配信や特定の人たちへの限定配信、自動返答などが使えます。役員がスマホに張り付く必要がなくなり、自治会の管理運営業務がラクになります。	登録してもらう必要がある メッセージを送るには、友だち追加をしてもらう必要があります。
他の人には見られず個別連絡が取れる 質問や相談は、周囲に見えない「1対1のチャット」になります。ご近所の困りごとや行事の欠席連絡など、プライベートな内容も安心して相談できます。	運用に一定の知識が必要 初期設定や配信機能の活用には、少しの慣れや知識が必要です。特定の役員に負担が偏らないよう、本マニュアルを活用して複数人で管理できる体制を整えましょう。

比較で見るLINE公式アカウント

連絡方法	得意なこと	使い分けのポイント
通常トーク	1対1の個別連絡	友だち追加した相手とのみ
グループトーク	関係者同士の相談・連絡	会話の内容は参加者全員と共有される
LINE公式アカウント	多くの人への一斉配信	広範囲への一斉配信＆個別チャットが可能 個別チャットは他の人には見えない
オープンチャット	広い参加・匿名性のある交流	匿名で相手が誰か分かりにくい

09

町内会・自治会での活用イメージ

LINE公式アカウントには、メッセージ配信、リッチメニュー、自動応答、チャット対応など、便利な機能がたくさん用意されています。

デジタル回覧板

自治会からの回覧板・お知らせを定期配信。リアルタイムで防犯情報を配信し注意喚起。



役立つ情報へ

リッチメニューにホームページや防災情報などのリンクを貼って、ワンタッチで情報へ移動できる。



安否確認

緊急時に避難案内を一斉配信、チャット回答で安否確認を行う。



加入促進

今まで接点のなかった世帯に自治会のことを伝えることが可能に。



上手に使うためのポイント | 対策例

LINE公式アカウントには、メッセージ配信やリッチメニュー、自動応答など便利な機能があります。町内会・自治会の状況に合わせて、「どの機能をどう使うか」を先に整理しておくで、無理なくスムーズに運用を始められます。

✓ 運用の目的・運用方法を決める（方向性のズレ対策）

「何を届けたいのか」「誰に見てほしいのか」を先に決めておくで、必要な機能を選びやすくなります。

✓ 配信内容を決めておく（配信の迷い対策）

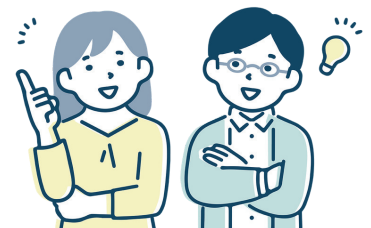
「何を」「いつ」「どのくらいの頻度で」配信するかを、あらかじめ決めておくことが大切です。行事案内、防災情報、回覧の補足など、配信する内容を整理しておくで、無理なく続けやすくなります。

✓ リッチメニューを分かりやすく作る（情報迷子対策）

ごみ、会館、防災、行事案内など、住民がよく見る情報をメニューにまとめると、迷わず使いやすくなります。

✓ 複数人で管理できる体制を作っておく（属人化対策）

担当者が1人だけだと、忙しい時や役員交代の時に運用が止まってしまうことがあります。あらかじめ複数人で管理できる体制を作り、投稿・確認・返信などの役割を分けておくで安心です。



10 LINE公式アカウントの導入方法

町内会・自治会でLINE公式アカウントをスムーズに導入するための「失敗しない4つのステップ」です。いきなり配信を始めるのではなく、事前に目的や配信内容を整理し、住民が使いやすい形に整えてから運用を始めることが大切です。

ステップ1 「使い方」をあらかじめ決める

町内会・自治会ごとの目的に合わせて使い方を整理しておきましょう。

《例》

- ・配信内容を決めておく（回覧板の補助として使う、行事やイベントのお知らせを送るなど）
- ・リッチメニューの項目を考える（行政防災ページや回覧資料を見られるページへのリンクなど）
- ・個別チャットを使用するか考える（使用するなら誰が対応するのかなど）



ステップ2 LINE公式アカウントを作る（スマホで行う場合は専用アプリが必要です）

スマートフォンまたはパソコンから、LINE公式アカウントの開設ページにアクセスし、アカウント名や業種、基本情報を入力して作成します。

① 公式サイトへアクセス

LINEヤフー for Business にアクセスし、「LINE公式アカウントをはじめる」をクリックします。

✔ スマホで作業する場合は、LINE公式アカウントアプリのインストールが必要です。

② ビジネスIDの作成

個人のLINEアカウントと連携させる「LINEアカウントで登録」か、ビジネス専用の「メールアドレスで登録」を選択します。 ✔ LINEアカウントで登録してもそれが第三者に分かるものではありません。

③ アカウント情報の入力

アカウント名や必要事項を入力し、規約に同意すると登録電話番号に認証コードが送られてきます。

④ 管理画面へログインで作成完了！

無事にログインできる事が確認できたらアカウントの作成は完了です。



ステップ3 基本設定を整える

配信前に基本設定を整えます。
まずはじめに次の3つを決めましょう。

- ・あいさつメッセージ
- ・個別チャット利用の有無
- ・リッチメニュー



✔ リッチメニューには、住民が必要としている情報の掲載先リンクを貼ります。情報を詰め込みすぎず、よく使うものから並べると分かりやすくなります。

ステップ4 友だち追加の案内をする

案内方法は、1つにしぼらず、複数の方法を組み合わせると登録してもらいやすくなります。

《案内方法の例》

- ・回覧物、チラシにQRコードを掲載する。
- ・直接声かけする。
- ・ホームページなどに友だち追加URLを貼る。



✔ 「登録してください」だけでなく、「どんな情報が届くのか」も一緒に伝えると、登録してもらいやすくなります。

11 LINE公式アカウントの使い方（基本）

LINE公式アカウントの基本操作、「一斉配信」「リッチメニューの作成」「個別チャット」の方法です。

一斉配信

登録者へメッセージを一斉配信します。

【Web版】

1. 管理画面「ホーム」→「メッセージを作成」をクリック。
2. 配信先をすべての友だち、配信日時を今すぐ配信にチェック。
3. メッセージの形式を選択し、内容を入力して配信をクリック。

【アプリ版】

1. 「🏠 ホーム」→「メッセージを配信する」をタップ。
2. 「追加」→送りたいメッセージの形式を選択して入力。
3. 「次へ」→配信先をすべての友だち、配信予約をオフにして配信。



リッチメニューの作成

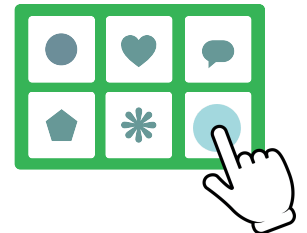
トーク画面下のメニューを作成できます。

【Web版】

1. 管理画面「リッチメニュー」→「作成」をクリック。
2. 基本設定（メニューの名前、表示期間）を入力。
3. コンテンツ設定（テンプレート、メニュー画像、アクション（動き）、情報（リンク先URLなど））を入力→「保存」。

【アプリ版】

1. 「🏠 ホーム」→「リッチメニュー」→「作成」をタップ。
2. 「テンプレートを選択」→各枠に表示させる画像を「アップロード」または「選択」。
3. 各枠のアクション（動き）を選択し、情報（リンク先URLなど）を入力→「次へ」。
4. 表示設定（メニューの名前、表示期間）を入力して「保存」。



個別チャット

登録者と個別にメッセージを送り合えます。（他の登録者には見えません）

※チャットができるのは、友だち追加後に何かしらのアクションをしてくれた登録者だけです。

【Web版】

1. 管理画面「設定」→「応答設定」→応答機能の「チャット」を有効化（グリーン）。
2. 管理画面のチャットタブ→チャットしたい相手を選択→メッセージを入力し送信。

【アプリ版】

1. 「🏠 ホーム」→「設定」→「応答」→応答機能の「チャット」を有効化（グリーン）。
2. 「💬 チャット」→チャットしたい相手を選択→メッセージを入力し送信。

✓ 自動応答を有効化している場合は、「手動チャットで対応」に切替えてください。